

令和6年度 浜松市立西気賀小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察（別紙のとおり）

2 学校関係者評価

11月26日（火）と2月14日（金）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・地域を歩いて回る地域たんけん活動等は、自然豊かな西気賀地区の強みであり小規模校ならではの取り組みでもあるのでよいと思う。また、スクールバスを利用して施設へ移動したりできるのも強みである。
- ・西気賀の強みとして、環境がいいことがある。地の利を生かした学習、人の輪を生かした活動を大人からやっていけるといい。
- ・学校評価アンケートについて“自分で考えようとする”という項目の子供たちの結果が、「当てはまる」回答が多かったが理解したうえでの結果なのかと思う。また、「きらっとカード」の活用方法について「当てはまらない」という回答が意外と多かったので理解されてないのではないかと感じた。
- ・「あしたばカード」「きらっとカード」などを通して、子供同士が互いの良さを認め合い、伸ばしていることで、いじめの未然防止につながっていると思う。今後も継続してほしい。
- ・子供たちに企画性を持って行動、生活をしてもらいたい。自分自身の将来に対する計画等につながると思うから常に計画性をもって行動できるようになればいいと思う。
- ・あいさつはコミュニケーション能力につながるので、子供同士でもあいさつについての話し合いをするのがいいと思う。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・和船活動を学びにつなげるため、和船本来の仕事であった「苗や稲を運ぶ」活動を加え、地域の重要な産業を支えていた和船を実体験として学ぶことができるように計画した。和船活動での実体験が、和船の歴史を学ぶ学習につながり、地域のよさを理解し、地域を愛する気持ちを育てていきたい。和船で運んだ苗で田植えしたり、刈り取って運んだりする活動を細江湖一周とならぶ和船活動の柱にしたい。
- ・「きらっとカード」で、より効果的に友達のよさを認め合うことができるように、カードを作る活動を学年の活動や全校行事の後になるよう実施時期を設定した。また、年度当初には「あしたばカード」「きらっとカード」の意義を全校で確認するようにした。全校で交流する機会を増やすことで、学年を越えての交流を深め、いじめの未然防止に役立てたい。
- ・「企画力」を育てる取り組みとして、異年齢集団での話し合い活動を取り入れていく計画を立てた。昼活動での縦割り班や全校での活動を増やし、活動内容を話し合い実践する「参画体験」を増やすことで、異なる考え方や立場をもつ子供たちが話し合う場面を意図的に増やした。小規模校である本校の弱点を、縦割り班や全校での活動を行うことで強みに変えていこうとする取り組みである。